# News Release

2026 年 11 月 9 日

## Hyundai Motor Company-Kia、Alten Korea、BASF が、Kia の新型「EV3 スタディカー2.0」向けにコンセプトカーのシートを共同開発

### ■ 循環型材料アプローチと分解を前提とした設計の原則を融合させたコンセプトシート

韓国 ソウル、2026 年 11 月 9 日 – Hyundai Motor Company-Kia、Alten Korea、および BASF（本社：ドイツ　ルートヴィッヒスハーフェン）は、車両開発、エンジニアリング、製品デザイン、先端材料に関する専門知識を結集し、Kia EV3 スタディカー2.0 向けの革新的シートソリューションを共同で設計しました。このコンセプトカーのシートは、循環型材料ソリューション、分解を前提とした設計の原則、および車両寿命終了時への配慮を取り入れることで、自動車内装における、より循環型のアプローチの可能性を示しています。車両の寿命終了時に解体や材料の分別が容易に行えるよう、BASF のエンジニアリングプラスチック、ポリウレタン（PU）、熱可塑性ポリウレタン（TPU）などの材料ソリューションが検討され、シート構造に組み込まれています。

Hyundai Motor Group（ヒョンデ モーター グループ）のバイスプレジデントである Jongkook Lee 氏は、次のように述べています。「スタディカー2.0 は、設計が完了した後ではなく、車両や部品の開発段階において製品寿命終了時の課題を検討するための、実践的環境を提供してくれます。このシートプロジェクトは、複雑な内装システムの中で、材料の選定、組み立て方法、そして将来の解体要件がどのように相互に影響し合うかを評価するのに役立ちます。」

お問い合わせ：
BASF ジャパン株式会社
コミュニケーションズ部
communications-jp@basf.com

BASF ジャパン株式会社
住所：〒103-0022
東京都中央区日本橋室町 3-4-4
OVOL 日本橋ビル 3 階
https://www.basf.com/jp

Alten Korea は、Hyundai Motor Company-Kia および BASF と共同でシート設計を開発し、各パートナーが掲げる材料および解体に関する目標を、統合的なシート構造に反映させました。この設計では、部品の構造や組み立て方法が、将来の解体や材料の分別をいかに円滑にできるかを探求しています。

エンジニアリングサービス企業である Alten Korea のエグゼクティブディレクター、Gwanghyun Kim 氏は、次のように述べています。「シートは密接に統合されたシステムであるため、部品の分離方法を変更すると、その構造、組み立て、外観にも影響が出ます。そのため、私たちはシートを完全なシステムとして捉え、構造、組み立て、分離に関する要件のバランスを、1 つの統合された設計の中で調整しました。」

このコンセプトシートには、クッション材、表皮、構造部材のすべてに BASF の材料が採用されています。

- ヘッドレストに使用されている熱可塑性ポリウレタン（TPU）**Elastollan®**は、韓国の Comtech Chemical 社が特許を取得した超臨界発泡技術 Whistling®を用いて、一部をバイオ由来の原料で製造されています（詳細については、Elastollan® TPU をご覧ください）。

- シートクッションおよび背もたれには、ポストコンシューマー原料由来のリサイクル材を配合した軟質ポリウレタン（PU）フォーム **Elastoflex® W** を使用しています（詳細については、Elastoflex® W をご覧ください）。

- 表皮には、バイオサーキュラー原料を使用したポリウレタン合成皮革 **Haptex®**を採用しています（詳細については、Haptex®をご覧ください）。

- **Ultramid® CR RC4** ポリアミド（PA）は、ポストコンシューマー廃棄物に由来するリサイクル材を配合しており、シートバックカバー部品に使用されています（詳細については、Ultramid® CR RC4 をご覧ください）。また、金属製のシートバックフレームを Ultramid に置き換えることで、バックカバーと一体化した統合構造を実現することも可能です。

BASF パフォーマンスマテリアルズ事業本部アジア太平洋地域のシニア・バイスプレジデントであるアンディ・ポスルスウェイトは、次のように述べています。「自動車用シートは、単一のシステム内で異なる材料クラスを組み合わせて機能させる必要があります。

今回の共同開発により、PA、PU、TPU といった材料間の相互作用を検証することができ、材料の選定が、部品の構造や、車両の寿命終了時の分解にどのように関連するかを明らかにすることができます。」

スタディカー2.0 は、Hyundai Motor Group と BASF によるコンセプトカー共同開発プロジェクトの継続版です。これまでのプロジェクトには、2010 年の「Hyundai i-flow」コンセプトカー、2016 年の「Hyundai RN30」コンセプトカー、そして 2024 年の「Kia EV3 スタディカー」があります。Kia EV3 のプラットフォームをベースとするスタディカー2.0 は、より広範な車両材料およびシート構造において、寿命終了時の設計配慮を取り入れることで、この共同プロジェクトをさらに前進させています。

※この資料は BASF が 2026 年 11 月 9 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。
※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

**■BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部について**
BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部は、持続可能性と高性能を両立させることで、プラスチック業界の変革をリードしています。材料に関する専門知識、深い業界知見、そして幅広い製品ポートフォリオを活かし、プラスチックのライフサイクル全体にわたる包括的なソリューションを提供するパートナーとして選ばれています。専任のマテリアルフォーカスチーム、強力な研究開発力、そしてお客様に近い場所に展開するグローバルな生産ネットワークを通じて、地域や業界特有のニーズに対応した最適なソリューションを提供しています。当社の製品は、自動車、建築、消費財、産業用途といった主要分野における性能と効率の向上に貢献しています。パートナーの皆さまと共に、より循環型で持続可能な未来に向けた #OurPlasticsJourney を歩んでいます。2025 年、パフォーマンスマテリアルズ部門の世界売上高は 64 億ユーロとなりました。
LinkedIn の#OurPlasticsJourney にぜひご参加ください：
https://on.basf.com/PM_LinkedIn
ニュースレターの登録はこちら：https://on.basf.com/PM_Newsletter
詳細情報：https://www.performance-materials.basf.com

**■BASF について**
BASF（ビーエーエスエフ）は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追求しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 95,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント（ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション＆ケア）、スタンドアローン事業の事業セグメント（サーフェステクノロジー、アグロソリューション）から成ります。2025 年の BASF の売上高は約 600 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所（BAS）に上場しているほか、米国預託証券（BASFY）として取引されています。BASF の詳しい情報は https://www.basf.com/global/en.html をご覧ください。